



社会福祉法人恩賜財団

済生会呉病院

平成23年度 事業成績

保健医療社会事業部

④保険医療社会事業部

保健医療相談室

1. 沿革

昭和56年	MSW 専任者1名が採用。医療相談室を設置。
昭和63年 3月	無料低額診療事業実施要綱並びに診療費減免規程作成
平成 3年11月	初の実習生受け入れ
平成 4年 4月	訪問看護スタッフ配置により訪問看護室が併設となる。
平成 7年 7月	改築工事終了。本館6階に移設。
平成14年 4月	平成14年度医学福祉共同研究実施。以後平成16、18、21年度も実施。
平成15年 4月	MSW1名採用(増員)。訪問看護室を分離し地域医療連携室を併設。
平成17年 4月	別館が完成。同1階に移設。
平成20年 4月	MSW1名採用(増員)
平成22年 4月	退院調整加算算定開始
平成20年11月	社会福祉士実習(新カリキュラム)指導者の認定
平成22年 6月	済生丸巡回診療に MSW として参加(大崎上島町 生野島・長島)

2. 平成23年度の主な取り組みや行事

平成23年 4月	婦人保護施設呉慈愛寮の入所者の無料健康診断開始 新任職員オリエンテーションで無料低額診療事業の講義
5月	無料低額診療事業について関係機関に挨拶(行政・高齢者施設)
6月	医療福祉実習1名受け入れ(広島国際大学4年生)
7月	第94回地域交流会、更正保護施設呉清明園関係機関連絡協議会 院内研修会の講師「無料低額診療事業について」
9月	社会福祉援助技術実習1名受け入れ(県立広島大学3年生)
10月	第9回吉浦地区健康教室、済生会学会(高松市)のシンポジスト
11月	第95回地域交流会、広島国際大学臨床准教授の称号付与
平成24年 1月	県社会福祉士会「昼食&相談会」でホームレス無料健診実施
2月	MSW研修会・生活困窮者支援事業研修会(本部) 済生丸の巡回診療に同行(大崎上島町 長島・生野島)
3月	婦人保護施設呉慈愛寮の入所者対象の健康教室を開催 第96回地域交流会、第9回吉浦地区健康教室

3. 業務内容・実績

(1)相談業務

経済的な問題、心理的な問題、社会復帰問題、家族問題、生活問題、受療に関する問題、資源の斡旋紹介、診療費の減免、退院の援助、その他。

①取扱い患者実数 単位:人

	前年度末現在 継続患者数	当年度 新規患者数	合 計	当年度 終了患者数	今年度末現在 継続患者数
入 院	24	383	490	366	25
外 来	83				99
合 計	107				124

②新規受付患者数の推移 単位:人

年度	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23
入 院	220	256	208	271	265
外 来	119	91	88	118	130

③取扱い患者延数の推移 単位:人

年度	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23
入 院	2, 283	3, 065	2, 442	2, 463	2, 478
外 来	612	611	626	649	804

④退院支援患者数(退院先) 単位:人

年度	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23
在宅復帰	69	91	106	117	136
医療機関	45	63	43	57	56
老健施設	15	26	35	32	25
その他	17	9	19	36	16
合計	146	189	203	242	233

(2)無料低額診療事業関係(②は委員会としての活動で当室が事務局)

①診療費の減免

- ・福祉事務所の他、更正保護施設やホームレス自立支援の会議で関係者に周知した。
- ・8月から市町村民税非課税世帯の限度額認定証提示者に、診療費減免のパンフレットを配布した。
- ・12月には周知強化週間を設け、期間中支払い窓口で、診療費減免の案内文書が記載されたビラを配布した。
- ・患者向けの「済生会呉病院だより」、開業医向けの「地域医療連携室だより」に、診療費減免の記事を掲載した。

診療費減免の相談延べ件数 単位:人

年度	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23
入 院	42	36	38	43	55
外 来	199	168	186	206	319

②地域交流会、吉浦地区健康教室

地域ケア委員会の活動で、当年度地域交流会は7月、11月、3月に当院の大会議室で、吉浦地区健康教室は11月と3月に呉市吉浦公民館で開催した。

当室が事務局となり、開催日時や講師の調整及び、地元関係団体や新聞社に案内状の配布や回覧などの広報依頼を行った。当日の司会進行も担当した。

③済生丸 巡回診療

大崎上島町の要請を受け、今年度も生野島、長島の両地区の巡回診療に同行した。

当日の来船者から日常生活上の様々な問題を聴き、町の保健師に情報提供を行った。

(2)生活困窮者支援事業

①平成24年1月28日に県社会福祉士会の「昼食&相談会」で行ったホームレス健診に同行し、医療機関に受診が必要な方等への支援を行った。

②婦人保護施設呉慈愛寮入所者の無料健康診断及び健康教室

無料健診の手配は当室が窓口になって行った。今年度21名が受診した。

健康教室は平成24年3月5日に実施、保健師・岡田希世氏が、「性病と日常の生活習慣」というテーマで講演した。事前調整と当日の準備などを行った。

4. 総括

無料低額診療事業のうち診療費の減免については、当年度は主に当院の患者を対象に周知活動を行った。その結果9月頃から減免相談が増加した。引き続き患者や関係機関への周知に努め、経済的に困窮されている方の円滑な受診を支援しQOL向上に繋げたい。

一方で当院の診療機能上、利用に結びつかないケースや利用で生じるデメリットが有ることも、関係機関に理解して貰うように努めたい。

相談業務は、入院患者の退院支援が大きなウエイトを占めている。対象患者の要介護度や医療依存度が高い傾向が続き、療養病床を持つ医療機関などに受け入れを要請する割合が高い。

近隣の療養病床を持つ医療機関が介護老人保健施設に移行する予定もあり、今後の不安要因のひとつでもある。また、経済的困窮の他、近親者不在など、退院の支援が難航し入院が長期化するケースもあり、社会資源の収集及び、院外諸機関との関係強化に努めたい。

地域での活動については当室が窓口や事務局を担っているが、日常の相談業務の傍らでの作業は柔軟な対応が難しい。各部署の協力を仰ぎながら活動出来るように努めたい。

地域医療連携室

1. 沿革

- 平成15年 4月 地域医療連携室を開設(保健医療相談室に併設)。MSW2名が兼務開始
- 平成15年 9月 「地域医療連携室だより」発行開始
- 平成17年 4月 別館が完成し同3階に移設
- 平成20年 4月 MSW1名増員

2. 平成23年度の主な取り組みや行事

- 平成23年 4月 地域医療連携室だより発行
 - 5月 中国労災病院地域医療連携懇話会出席
 - 6月 呉共済病院病診連携懇話会出席
 - 7月 安芸地区医師会済生会呉病院病診連携連絡協議会
 - 9月 呉医療センター「波と風ネットワーク」講習会出席
 - 11月 「地域医療連携室だより」「診療予約のご案内」発行
開業医訪問3件
 - 12月 「地域医療連携室だより」発行、開業医訪問4件
- 平成24年 1月 開業医訪問17件、撫子医会新年互礼会出席
- 2月 呉地域診療連携システム構築検討委員会出席
島嶼部医師会学術講演会出席
- 3月 開業医訪問3件

3. 主な業務内容

- :前診療日の紹介患者の集計と、紹介元医療機関へのお礼文書作成
- :退院患者の紹介元医療機関への診療情報提供書等の送信
- :診療予約依頼対応。予約手配と予約確認票の送信。
- :当院患者の他の医療機関への受診予約手配
- :診療情報等の収集及び提供の作業
- :地域の医療機関への地域医療連携室だより、撫子医会の開催案内、年賀状、暑中お見舞いの発送
- :医師会や基幹病院開催の各種会合等への出席
- :院内に配置した医療機関名簿及び基幹病院の外来担当医表の管理

4. 実績

科別紹介患者数(含再来)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	67	84	82	79	100	81	75	86	75	76	84	86	975
心療内科	2	1	2	5	1	0	1	1	1	0	2	0	16
外科	4	12	16	5	6	8	10	9	5	6	4	8	93
整形外科	32	25	20	33	24	21	17	19	21	29	25	16	282
眼科	37	38	42	35	38	39	40	28	24	35	38	50	444
耳鼻咽喉科	5	1	1	2	1	3	0	1	3	4	2	2	25
小計	147	161	163	159	170	152	143	144	129	150	155	162	1,835

地域医療連携室経由 診療予約受付件数 (件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
103	116	122	124	108	124	111	91	79	124	107	141	1350

地域医療連携室経由 他の医療機関への診療申込件数 (件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
48	45	43	40	40	35	27	29	33	30	48	32	450

5. 総括

単に診療予約を受け付ける、他の病院の予約を取る、だけの役割ではなく、診療情報の収集や提供、地域の医療機関からの相談受付、などの役割も持ち合わせるようになった。事務作業の効率化を図りながら、多くの情報を取り扱える部署になるよう取り組みたい。

当院で行っている診療や検査内容を、判りやすく地域の医療機関に伝えるために、「診療予約のご案内」という冊子を作成したが、追記や修正を加えながら充実した内容にしたい。また、下半期から少しずつではあるが、地域の医療機関への訪問活動を始めた。「頼って貰いやすい病院」であり続けるために今後も続けていきたい。